

2023年7月6日

三井住友海上火災保険株式会社

九州電力株式会社

自家用構内ケーブル診断「PDLOOK（パドルック）」と連携した保険商品 「ケーブルあんしん補償保険」の提供を開始します

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(代表取締役社長執行役員：船曳真一郎)と九州電力株式会社(代表取締役社長執行役員：池辺和弘)は、電気設備の予防保全に関して協業しました。本協業を受け、三井住友海上は、九州電力の自家用構内ケーブル診断サービス「PDLOOK（パドルック）」の診断結果に基づき、ケーブル交換費用等を補償する保険「ケーブルあんしん補償保険」を本日から提供開始します。

1. 背景

従来、自家用構内ケーブル（特に、特別高圧ケーブル）を保有する事業者は、ケーブルの経年劣化に伴う停電事故や火災発生リスクがあるものの、点検に伴う操業停止や診断技術の課題等により、タイムリーに設備劣化を把握することが困難でした。

こうした状況を受け、九州電力は、2022年8月から、事業活動を止めずに遠隔でケーブル劣化傾向の監視、把握を可能とする「PDLOOK」のサービス提供を開始しました。

一方、劣化傾向を把握しても、ケーブル交換にかかる労力や費用が大きいことから、設備更新まで至らないケースも存在しています。そこで、「PDLOOK」に保険を組み合わせ、故障前にケーブル交換費用等をお支払いすることで自家用構内ケーブルの設備更新をさらに促進すべく、本保険商品の開発に至りました。

2. 保険商品概要

「PDLOOK」を契約するお客さまの遠隔診断結果に基づき、三井住友海上が故障前の不良ケーブル交換費用等の一部を保険金としてお支払いします。早期の設備更新を促し、停電・火災事故のリスクを低減します。

(保険金お支払いのイメージ)



3. 今後の展望

両社は、日本の産業の未来の安心・安全を支えるパートナー企業として、相互に理解を深めながら、設備保全分野における新たなソリューションの展開に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

【ご参考：PDLOOK サービス概要】

項目	内容
サービス概要	日本全国の特別高圧・高圧の自家用構内ケーブル（3kV以上）が対象の『特別高圧ケーブルに適用可能な無停電遠隔診断サービス』
サービススキーム	<p>① 自家用構内ケーブルの接地線に、半割れ型の CT センサーを取付けて信号を常時取得（設備改造不要）</p> <p>② 検出装置にて異常信号とノイズ信号を識別処理し、LTE 回線で PDLOOK クラウドに送信</p> <p>③ AI・IoT を駆使した異常信号解析</p> <p>④ 最終診断結果を毎月ご報告 ブラウザでいつでも自家用構内ケーブル劣化情報の閲覧が可能</p>
サービス特長	<p>(1) 停電作業が不要なため、生産ラインを稼働したまま診断が可能</p> <p>(2) 生産停止計画調整や診断に関わる現地対応等の労力削減が可能</p> <p>(3) 365 日診断によるトレンド監視で劣化初期段階から異常検知可能</p> <p>(4) 特別高圧ケーブルに適用可能</p> <p>(5) 毎月診断結果をご報告（診断結果はブラウザでいつでも確認可能）</p>
H P	https://www.pdlookofficial.com/
問合せ先	PDLOOK@kyuden.co.jp

以上